

日刊 發行所 東京 人 川 崎 文 倉 一 本 社 下 同 番 地 (電 話 六 三 〇 〇 番 號) 印刷所 東京 日 本 印 刷 所 電話 六 三 〇 〇 番 號



刊 夕 日 一 十 二 月 七

定 額 一 部 金 貳 錢 一 月 五 錢 三 月 一 十 五 錢 六 月 二 十 五 錢 一 年 一 百 一 十 五 錢 郵 費 在 内 一 部 金 貳 錢 一 月 五 錢 三 月 一 十 五 錢 六 月 二 十 五 錢 一 年 一 百 一 十 五 錢 郵 費 在 内 一 部 金 貳 錢 一 月 五 錢 三 月 一 十 五 錢 六 月 二 十 五 錢 一 年 一 百 一 十 五 錢 郵 費 在 内

寄 書
銷夏漫筆 (三)
 島田忠夫

◆盆前後
 南町の二十三夜尊の縁日も涼しい夏の景物詩であつたあの寺あとに郡役所が移りやがて郡役所も廢止になつた現在も片隅に取残された二十三夜尊の縁日はあるだらうか。

そろ／＼月のいい頃で、立町から鎌田へゆく街道の地蔵尊縁日がある。道ばたの露店に唐きび焦げる匂ひや、行燈の拙い繪に興がつて、ぼんやりと人々の群につ

多くの却つて晝の暑さを忘れる程のものであつた。茲にも名残の盆踊は、にぎやかな唄と共に毎年見られたやうである。

縣社八幡宮の祭禮は秋であつた。あの肥えたじやうがの束がそれを物語つた。天狗の面や張子の虎俵手が並ぶのもい／＼な玩具店が出るのもこの祭である。近年東京あたりの好學家に盛んに蒐集される土俗、玩具は半からは出ないのだから、多くの濱で作られてゐる古い町、平のためにも是非残して置きたい土俗玩具である。

活版印刷の御用命を御願致します

鮮美 印刷 速敏

所刷印日每警常
 五三町橋長町平
 (番〇三六話電)

◆二十日ヨリ◆
 大帝キネ特作實川延松主演
忍術膝栗毛
 第二篇 奮闘篇 道雲齋の妖術 阪東豊昇、久野あかね助演
 帝キネ犧牲的特作
 昭和三年三月十一日東京に起りし?
 藤間林太郎、吉田豊作、沖田英二主演
鮮血の響 特別
 美談 豪雨塗れの捕物 芝居 豪華 後藤、永田二警官 血闘 實録!
 マキノ超特作 青年 派努力篇 原作 吉川英治 少年 俱樂部 部 連載
神州天馬俠 第二
 マキノ現代劇
 中根龍太郎、杉狂児主演
 およし 人の 尊 卷六
 土曜學生デー
 帝キネ
有聲座
 肉聲其まゝの高級
 ビクターレコード枚、50錢
 日本物と音楽
 蓄音器針は
 ビクター針先
 一度御試聽下さい

土用中牛肉 大賣出し
 皆様御承知の通り七月廿日より土用入で
 身體保健の爲め弊店 獨得の牛肉を是非た 薦致します
 遠近に不拘迅速御届け致します
 平町土橋通り
大塚肉店
 電話三四四番
大塚亭肉店
 電話六六七番

外科 外科一般 耳鼻科 花柳科
婦人科 産科 婦人科
 内科 × 光線科
 平町字田町
香葉病院
 (電話四七五番)

夏 服
 種々取揃へました
 大勉強いたします
 小供洋服は壹圓より其他特別格安もの多數是非御出下さい
十字屋洋服店
 平停車場前通り

土用丑の日 (三十四日 八月五日)
大勉強 大賣出し
 金壹圓以上
 金八拾錢以上
 出前は丑の日取込ますから前以て御注文を願します
 配達は迅速に致します
 南町平館となり
魚 榮
 電話四二四番

地球は廻る
 土用入 七月二十日
 大 暑 七月廿三日
 丑の日 七月廿四日
 立秋 八月五日
 土用丑の日は牛肉デー
 當日は大捨利運を以つて
牛肉大賣出し
 田町 三二二屋
 電話三二二三番

●丑の日の御用命を
 ●お待ちして居ます
松本樓
 うな井
 電話百十三番

廣告ト實際ト伴フ店
割烹 吉田
 御安心ノ出來ル御客本位ノ店
 電話 番六二二

牛肉大賣出し
 來七月廿四日丑の日
 ヒ 壹圓貳十錢
 上ロース 壹圓十錢
 中ロース 八錢
 ばら 六錢
 上肉 四錢
石川のなべ肉
 御紹介の意味で本年は特に最上物を右の通り大賣出し
 「ばら」「上肉」にて優に他店の「ヒレ」「ロース」凌ぐ逸物に候間此機を逸せず陸續御注文の程
 御願申上候 敬具
 平町田町
石川亭
 電話 番三四

昔をしのぶ装ひで 名物の野馬追ひを實演

御大典記念の馬匹博覽會で 相馬流山踊も上演

今秋の御大典に際し全國産馬畜産會聯合會主催となり御大典記念全國馬匹博覽會に本縣内の名物野馬追ひの實演方を同博覽會長から加瀬知事あて勸奨して来たが右は馬事思想普及上極めて有意義であるといふので陸軍省でも非常に乗氣になり實演に使用する馬五十頭を貸付援授することとなつたので博覽會で

高齢者八千餘名 光榮の養老杯賜杯で 縣から宮内省へ報告

今秋の御大典に際し全國の高齢者に對し長き邊から養老杯を下賜されるものに對し縣では調査中の所二十日八千三百三名の高齢者を宮内省に報告したが確定するのは十一月十日現在なので失格者も出て結局八千名内外になるだらう

米の共同販賣 頗る好成績

取引高約四千俵

石城郡の各農村では昨秋の收穫期以來打續く米價の下落に刺激され此對策として米の檢査と共同販賣が勵行されて来たが最近迄の共同取引高は三千八百四十俵に上り之れを個人賣に比較すると一俵に付九十六錢強

藝妓團の海水浴計畫

慰安かたがた不景氣拂ひ 平藝妓組合の珍趣向

暑さが増すに連れて石城各濱は浴客で賑はひ出して来たが不景氣に祟られた平町花街新田町の藝妓屋組合では不景氣風を追拂ふため藝妓全部を引き連れて大團体の海水浴團を組織する事になり組合の幹部は準備のため汗だく汗の体である場所を四倉濱で自動車十數臺を買切り二十五日の朝平町から四倉町に赴く豫定である海岸では自由氣儘の行動をとり事が出来組合として發動

片倉製糸 募株良好

平町に設立される資本二百

さのふ土用入り

昨年より六度七分低溫 本年の暑さはこれから

昨日は土用入りでいよいよ眞夏酷暑の候となつたわけであること二三日中は氣壓の配置が順調を欠き十九日夜から二十日朝にかけては暑いところか却て冷氣を覺えた位で土用入りの二十日午前十時小名濱測候所觀測の氣温は七十一度二分で昨年の土用入二十一(午前)十時の温度七十七度九分比すれば六度七分低かつたか同測候所では七月中旬は毎年梅雨のやうな雨が來り下旬にならなければ全く晴れぬのが例であるから土用入りと共にこれから本當の暑さになるとのことであるなほ今年の土用明

冷氣を覺

えた位で土用入りの二十日午前十時小名濱測候所觀測の氣温は七十一度二分で昨年の土用入二十一(午前)十時の温度七十七度九分比すれば六度七分低かつたか同測候所では七月中旬は毎年梅雨のやうな雨が來り下旬にならなければ全く晴れぬのが例であるから土用入りと共にこれから本當の暑さになるとのことであるなほ今年の土用明

町民大會

四倉町の運動

四倉町では漁港修築問題につき期成同盟會幹部は二十一日更に協議の上近く町民大會を開いて決定をなし委員を擧げ目的達成の運動方法を定めるはずで町内から約一千圓の寄附金を募り猛運動を起すこととなつた

信用保險

平職業紹介所

平町職業紹介所では八月一日から求職者信用保險を賣



家庭欄

西瓜の見分方

西瓜は手の平で軽く實をたいてみて、太鼓の皮のたんでみるやうな濁音を發し花落ちの近所を指先まで

けの信用を保證してもらひたいと思へば毎月一圓づゝの保険料を横濱生命保險會社にかけ萬一の場合會社は契約金額を雇主に返す制度である

鈴木病床に 多くを語らない

疑問の殺人事件として注目された内郷村大字白水の五人殺し被疑者鈴木治八郎(五)は宮城控訴院で無罪の判決を言渡され去る十七日一年三月でやつと自宅に歸ると間もなく病の床に身を横たへ醫師の治療を受け一切面會を避けてゐるが二十日正午経緯から約半里の悪路をたどつて同家を訪れると當の治八郎は「無事に歸ることが出来るおすと弾力性を感ず皮の色のおさめてみるところに黄色味が多く加はつてゐるやうなのは大体熟してゐると見てよい果實を裁ち割つたならまづその肉の色を見る品種により赤、紅、淡、紅、カステラ色、白、などさま／＼な色があるが、いづれもそれらの色が鮮やかで

今度は螟虫

病虫害の續發に 石城農民困は

石城郡内水田に泥負虫稻熱病が發生し狼狽をなしてゐる折柄最近また水稲が枯死の状態に陥つたので石城郡駐在神尾技師は郡内各地に出張調査の結果多數の螟虫が發生してゐることが判明極力驅除法を講じてゐるが容易に驅除するに至らず農民は重ね／＼の害虫發生に困憊その極に達してゐる

募集

交遊其他投稿を募集します

老武者の會

廿二日新舞子で 平町の老兵會が

陳情により此程役員會を開いて同月廿七日に繰上げ開場することになつた

四倉繭市場 繰上げ

來月廿七日から

石城販賣利用組合經營の四倉市場は夏秋繭の産繭に對し八月卅一日から開市の豫定であつたが地方當業者の

強盜潜入

石城地方に 平署で嚴重警戒

安達郡白岩村大字白岩三森善喜方に二十日午前一時頃覆面の強盜押入りすご文句をならべたが家人に騒ぎ立てられ一物を得ずして逃走石城地方に入り込んだかも知れぬといふので所轄本宮署から平署へ逮捕方へ手配があつた